

質問書に対する回答
首都圏中央連絡自動車道 多古北工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書 P59～61 24-28 仮橋工	24-28-6 支払 において、“上部路床以深の土砂の掘削、埋戻し”とありますが、掘削範囲、数量のわかる設計図がありません。ご教示願います。	特記仕様書24-28-6に示す”上部路床以深の土砂の掘削、埋戻し”については、H型鋼の切断に伴い必要となるものです。したがって、掘削範囲については、設計図 一般国道296号 24、25/34に示す切断位置(下部路床下端)までとなります。併せて閲覧資料 数量計算書 8. 一般国道296号 8-75をご確認ください。
2	特記仕様書 P59～61 24-28 仮橋工	24-28-6 支払 において、“掘削、積込、一般国道296号路体への運搬、敷均し、締固め”とありますが、【一般国道296号路体】とは迂回道路STEP2の路体と理解してよろしいでしょうか。異なる場合は、設計図等にて盛土場所の明示をお願いいたします。	一般国道296号路体については、設計図 一般国道296号 32/34に示すとおり、本線ボックスカルバート上部の盛土のうち、路床以外の範囲となります。